



昨年10月には、アメリカのニューヨーク市にあるフォレ斯特・ヒルズ高校と提携協定を結んでいます。これもグローバル教育を推進するためです。2015年には、梅村学園と韓国・地山学園が連携協定を締結し、地山学園が運営する漢西高校と本校との交流も続いています。海外との交流がさらに活発になり、生徒たちの国際感覚が磨かれていくことを期待しています。

本校の開校100周年は、同時に梅村学園の創立100周年でもあります。中京商業学校の発足を起点に、梅村学園は校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」に基づく教育を各校で展開してきました。同窓生は社会の各分野で活躍されています。

梅村学園は100周年記念事業委員会を2016年5月に発足させました。学園のさらなる発展に向けて様々な記念事業を展開していきます。教育・研究

環境の充実を目的に、すでに始めているのが寄付事業です。本校をはじめとする各キャンパスの施設整備、教育・研究活動の支援、スポーツ活動やスポーツ教育への支援など、目的に応じて寄付していただける制度になっています。税制上の優遇措置の適用も可能です。顕彰制度も整っています。同窓生の皆さまには梅村学園100周年の機会に母校への支援をご検討いただければ幸いです。

また、学園100周年事業の一環で、百年史となる学園史を編さんします。本校をはじめ、旧中京中学校、中京大学など学園各校の歴史を調べ、一世紀に及ぶ教育・研究の実践を詳細な記録に残します。昨年12月には、編さん組織となる史実調査委員会を梅村学園理事会の下に発足させました。

梅村学園の過去、現在、未来をこの機会に、同窓生の皆さんと共有したいと思います。ご協力をお願いします。

**建学の精神**

同窓生の皆様におかれましては、日ごろから母校の教育活動に対し、ご厚情とご支援を賜ります。本年度の主な活動報心より感謝申し上げます。告を申し上げます。

【学術の真剣味を求めて】

2017年度は新たに希望に満ちた443名の新入生を迎え、全校36クラス、1312人でスタートしました。男子生徒は523名、女子789名で女子生徒の割合が60%を占めています。

進学コースでは、中京大学の学部授業を受講し、進学前に単位が取得できる単位認定型先行授業など様々な取組を充実させ、中京大学との7年一貫教育を

より豊かなものに発展させています。

このプログラムで中京大学を卒業する学生も3年目を迎え、今年は新たな試みとして7年一貫教育終了イベントが学生の呼びかけにより3月に開催されると聞いています。卒業してから親しい友人や部活の仲間との関係は続くでしょうが、学年単位での集まりは、新たな連帯や邂逅が生まれます。人生の節目となるよう20年後30年後などに集まるるような会に発展することを期待しています。

今年度の新たな取組として、国と企業が出資して留学を支援する「トビタテ留学ジャパン」に生徒が応募しまし

# 大竹有二

2018年の3月には代表生徒14人が初めて訪問団としてニューヨークに向かいます。2019年1月にはオレゴン州立ビルズ高校からの訪問団を受け入れる予定にしています。相互の交流活動を重ね豊かな学校文化交流を育てていきたいと考えています。

今後も中京大学との7年一貫教育の充実やグローバル教育の推進などを柱により教育環境を整え、「学術の真剣味」の体現を進めたいと考えています。

【スポーツの真剣味を求めて】

今年の大きなトピックは、陸上競技部が念願の日本一を果たしたことになります。昨年夏、天童市で開催された全国高校総体において、女子100m×4リレーで見事優勝しました。前年度は準優勝に終わり、悔しい結果がありました。前年度は準優勝を加え、本年度の戦いが始まりました。

東海大会、全国総体の4つの大会で、それぞれ予選、準決勝、決勝と合わせて12回のレースをその日のコンディションや他種目との調整を配慮しながら10人の選手たちでバトンをつないで走り抜け、最後に栄冠を勝ち取りました。まさに選手層の厚さとチーム力の勝利でありました。

硬式野球部は2年ぶりに甲子園出場を果たし、水泳部は高校総体で男子総合4位と近年では快挙といえる成果を上げました。サッカー部は新人戦、高校総体、選手権大会において県の覇者となり、全国へ駒を進めました。

スケート部では2年横井さん、1年荒木さんが日本選手権に出場し、3年須崎さんは本校の卒業生である木原選手とペアで平昌オリンピックの出場を果たしました。安藤美姫さん以下の在校生のオリンピアンの誕生となりました。

他にも、チアリーディング部やダンス部も地区予選を勝ち抜き全国大会に出場し、女子軟式野球部は創部3年

目にして全国大会3位という成績を収めました。近年は、女子の活躍も大変目立つてまいりました。

個人では、硬式野球部主将の伊藤君が子供のころからの夢であったプロへの道に進むことになりました。地元球団中日ドラゴンズですので応援をお願いします。

振り返れば今年度は、「スポーツの真剣味」において実りの多い年であります。次に続く後輩たちも伝統を受け継ぎ、更なる躍進を目指します。

建学の精神を求めて 校長 大竹有二

同窓生の皆様におかより豊かなものに発展

た。このプログラムは、

2018年の3月には  
代表生徒14人が初めて  
の訪問団としてニューヨ  
ークに向かいます。

東海大会、全国総体の4つの大会で、それぞれ予選、準決勝、決勝と合わせて12回のレー

目にして全国大会3位  
という成績を収めまし  
た。近年は、女子の活  
躍も大変目立つてまい  
りました。